



答弁中の平松町長

施設

施設の有効活用を

地域の力に期待

問

町営の「かしのきはらキャンプ場」は、平成20年に閉鎖されています。現地を見るとバンガローや炊事場など、少し手を加えればまだまだ利用ができるのではないかと思います。今年度は、新型コロナウイルスの感染拡大で、公共交通機関を避けたマイカー移動により、アウトドアでも、オート

答

キャンプが活気を取り戻しているようです。隣接する篠栗町や宇美町のキャンプ場は、休日は予約でいっぱい聞いています。もう一度、地域の子ども会や学校、部活動合宿など、自然の中で活動ができる施設として、活用できないものか、町長の見解をお尋ねします。

答 平松町長

レジャーの多様化に伴い年間利用者が年々減少し、施設の老朽化による管理運営費が増加したことなどにより閉鎖しました。現在、周囲の環境保全に影響を及ぼさないよう、定期的に点検・管理を行っています。



藤野正剛 議員 (写真はアクリル板を通してため不鮮明になっています)

環境

久我記念館周辺の緑地整備を

計画的に実施

問

山々が紅葉で色づき、久我記念館周辺もモミジ等が紅葉し自然豊かです。駐車場から登ると右側に原田町長顕彰碑、さらに登ると東屋(休憩所)、さらにシヤクナゲや須恵の千年桜等が植樹され、春には見ごろです。

答

久我記念館から市街を一望できる展望、そして、町のランドマークとなるよう、周囲の杉林との調和を図りながら、景観の妨げとなつている樹木の整備を次年度より計画的に実施したいと考えています。

答 安河内社会教育課長

久我記念館から市街を一望できる展望、そして、町のランドマークとなるよう、周囲の杉林との調和を図りながら、景観の妨げとなつている樹木の整備を次年度より計画的に実施したいと考えています。敷地内の東屋については、木造のテーブルや椅子、そして躯体はまだしっかりしていますので、現在破損している階段の修繕を考えています。また、美術館へのアクセスは高齢者の皆様にとつては厳しい現状です。館へのアクセスの利便性を図るためにも、館周囲の自然を活かすつつ、駐車場の整備も考えています。今後、議会にお諮りし、自然教育基金を活用して久我記念館周辺の整備を進めていきたいと思っています。



世利孝志 議員 (写真はアクリル板を通してため不鮮明になっています)



東屋から見た景観



久我記念館から見た景観



かつて使われていたバンガロー